

2027（令和9）年度

人文学研究科 障害心理学専攻 修士課程

=====

学生募集要項

=====

【募集人員】5名（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の合計）

【出願期間】2026年9月 9日（水）～9月18日（金）（17時必着）

【試験日】2026年9月26日（土）

【合格発表】2026年10月9日（金）

【入学手続期限】2026年10月21日（水）

【入学検定料】30,000円

【選抜試験会場】九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学大学院

本研究科は、公認心理師の国家試験受験資格の取得を希望する方のためのカリキュラムとなっています。公認心理師の国家試験受験資格の取得に必要な学部段階の資格要件を満たしている方が対象です。

教 育 方 針

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

以下（１）から（６）が入学者に対して期待する学生像です。

- （１）公認心理師等の臨床心理専門職として支援を行うことに強い意欲を持っている人
- （２）保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の現場で地域貢献を志すことに強い意欲を持っている人
- （３）対人支援において必要とされる基本的倫理意識（倫理観）を有する人
- （４）（要支援者やその関係者と良好な関係を構築する基本的能力である）社会人としての常識、良好な対人スキル、積極的に他者と良好な人間関係を構築する能力を有する人
- （５）心理学および臨床心理学に関する基本的な知識、技能、研究の資質を有する人
- （６）障がい児・者の支援に心理学の視点を生かしてアプローチすることに関心を持っている人

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- （１）公認心理師等の臨床心理専門職として実際に支援ができる知識と技術を教育します。そのために公認心理師試験受験資格に必要な科目を開講します。公認心理師の活動する保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の５分野については、「保健医療分野に関する理論と支援の展開」、「教育分野に関する理論と支援の展開」、「福祉分野に関する理論と支援の展開」、「司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開」、「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」を開講します。心理アセスメントについては「心理的アセスメントに関する理論と実践」を、心理支援については認知行動療法と支持的精神療法を含む「心理支援に関する理論と実践Ⅰ」、精神分析療法に加えて SST やプレイセラピーなど臨床現場で実施されている様々な心理療法を含む「心理支援に関する理論と実践Ⅱ」の２科目を開講し、心理療法について重点的に教育します。実習については学内実習である心理実践実習Ⅰ～Ⅳ、学外実習である心理実践実習 A、B を設定しています。さらに家族、組織、地域社会に関する心理支援を学ぶための「家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践」、心の健康教育についての支援を学ぶ「心の健康教育に関する理論と実践」を開講しています。
- （２）地域貢献のできる公認心理師等の臨床心理専門職を養成します。地域貢献できる公認心理師とは地域の医療機関や福祉施設、教育関連機関等で心理職に求められる態度を身につけている心理師のことです。それは具体的には社会人基礎力、学士力として知られている学力や態度に加えて、高度専門職業人としての心理学及び関連分野の知識と技能を身につけている人材のことです。社会人基礎力、学士力とは、例えば、様々な立場の専門職とチームで働く力がそれ

に当たります。チームで働く力は、自分の意見をわかりやすく伝える力である発信力、相手の意見を丁寧に聴く力である傾聴力、自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力である状況把握力、ストレスに対処するストレスコントロール力などから構成されています。これらに関しては臨床心理専門職としての知識スキルに關した講義、実習、多職種連携に關する講義や実習が關係しています。

- (3) 臨床心理専門職としての倫理を学びます。心理支援に關する講義、実習科目である心理実践実習 I～IV、心理実践実習 A、B 等を通して臨床心理専門職としての倫理を学びます。
- (4) 他者とのコミュニケーションおよび要支援者との関係づくりのスキル、多職種連携に關する教育を行います。社会人基礎力、学士力、臨床心理専門職としての知識、スキルの習得に加えて、多職種連携の方法についての教育を行います。本学では、精神保健福祉士および特別支援教育教員養成を行っており、両者にかかわる教員と連携し、公認心理師と精神保健福祉士、教員との連携を教育します。「多職種連携の実際」を開講しています。
- (5) エビデンスに基づく支援ができるための科学者－実践者モデルの教育を行います。科学者－実践者モデルとは、科学としての心理学に基づく研究を遂行する研究者養成の教育と臨床心理学実践者としての訓練を同時に行うという心理職養成のあり方です。研究については「心理学研究法」と「研究指導」を開講しています。
- (6) 障がい児・者への支援の展開についても学びます。本学では障がい児・者への支援の伝統があります。この伝統については「障害者支援学」で学びます。本授業では、知的障害及び発達障害支援において公認心理師が備えるべきものとして、①乳幼児期からの臨床現場と現場における支援に關する制度や仕組み、②児童期／青年期を中心としたアセスメント等を含めた支援方法に關して学修します。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院で大学院生の修得すべき知識や能力の基準は以下の通りです。

- (1) 公認心理師等の臨床心理専門職として必要な知識と技術を身につけている
- (2) 地域の現場で求められる技能・態度等（社会人基礎力、学士力、心理専門職としての知識やスキル）を身につけている
- (3) 臨床心理専門職としての義務や倫理を遵守できる
- (4) 臨床心理専門職として必要な他者とのコミュニケーションスキルおよび要支援者との関係づくりのスキルを身につけている。他職種の専門家と連携して業務を行うために必要な知識やコミュニケーションスキルを身につけている
- (5) 心理学研究の方法論を学び、科学的な視点に基づいた論文を執筆することができる。また、心理支援職としての知識とスキルを習得している
- (6) 障がい児・者への支援について心理学の視点を生かしてアプローチすることができる

一 般 選 抜

(1) 出願資格

以下の a 及び b に該当する者

a. ①～⑥のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
- ②学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第 125 条の 2 第 1 項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者
- ⑨本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

b. ①又は②に該当する者

- ①大学等において、心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として公認心理師法施行規則第1条で定めるものを履修して卒業又は履修中で卒業見込みの者
- ②2017年9月15日より前に大学へ入学した場合は、公認心理師法施行規則附則第3条に定める科目の単位を履修して卒業した者又は履修中で卒業見込みの者

(2) 出願手続書類 ※記入要領等の詳細については、7ページをご参照ください。

以下の書類を揃えて、所定の宛名ラベルを貼付した封筒に同封し、出願期間内に本学に持参するか、又は出願期間内に必着するように簡易書留・速達で郵送してください。

- ① 入学試験志願票（A・B票）
- ② 志願票（コンピュータ処理用）
- ③ 志望理由・研究計画書（様式1）
- ④ 出身大学（最終学歴）の成績証明書
- ⑤ 出身大学（最終学歴）の卒業証明書又は卒業見込証明書（様式2）
- ⑥ 略歴記入票（様式3）

(3) 選抜方法

筆記試験、口述試験、学業成績証明書等の書類審査の結果を総合的に判断して選抜します。

種 別	科目・内容	配点
筆 記 試 験	専門試験 70 分 公認心理師カリキュラム学部レベルの心理学の知識	100 点
	外国語（英語）70 分 ※大学が貸与する辞書のみ使用可（電子辞書の使用は不可）	50 点
口 述 試 験	志望理由・研究計画書等に基づき、複数の教員により口述試験を行う。	100 点
合 計		250 点

(4) 試験日程

2026年9月26日（土）	受 付	8：30～
	専門試験	9：20～10：30（70分）
	外国語	10：50～12：00（70分）
	昼 食	12：00～13：00（昼食持参）
	口述試験	13：00～

※口述試験は13時以降です。各受験生の実施時間、場所については試験当日に指示します。

社会人特別選抜

(1) 出願資格

一般選抜に示す資格を有する者で、出願時点で2年以上の社会人の経験（就業の有無は問わない。）を有する者 ※25歳以上であること

(2) 出願手続書類 ※記入要領等の詳細については、7ページをご参照ください。

以下の書類を揃えて、所定の宛名ラベルを貼付した封筒に同封し、出願期間内に本学に持参するか、又は出願期間内に必着するように簡易書留・速達で郵送してください。

- ①入学試験志願票（A・B票）
- ②志願票（コンピュータ処理用）
- ③志望理由・研究計画書（様式1）
- ④出身大学（最終学歴）の成績証明書
- ⑤出身大学（最終学歴）の卒業証明書（様式2）
- ⑥略歴記入票（様式3）

(3) 選抜方法

筆記試験、口述試験、学業成績証明書等の書類審査の結果を総合的に判断して選抜します。

種 別	科目・内容	配点
筆 記 試 験	専門試験 70分 公認心理師カリキュラム学部レベルの心理学の知識	100点
	外国語（英語）70分 ※大学が貸与する辞書のみ使用可（電子辞書の使用は不可）	50点
	口 述 試 験 志望理由・研究計画書等に基づき、複数の教員により口述試験を行う。	100点
合 計		250点

(4) 試験日程

2026年9月26日（土）	受 付	8:30～
	専門試験	9:20～10:30（70分）
	外国語	10:50～12:00（70分）
	昼 食	12:00～13:00（昼食持参）
	口述試験	13:00～

※口述試験は13時以降です。各受験生の実施時間、場所については試験当日に指示します。

外国人留学生特別選抜

(1) 出願資格

日本国籍を有しない者で、一般選抜に示す出願資格に該当し、日本語教育の参照枠 C I (日本語能力試験 NI 相当) 以上取得の者

ただし、日本の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者は日本語能力試験の取得を問わない。

(2) 出願書類類 ※記入要領等の詳細については、7 ページをご参照ください。

以下の書類を揃えて、所定の宛名ラベルを貼付した封筒に同封し、出願期間内に本学に持参するか、又は出願期間内に必着するように簡易書留・速達で郵送してください。

- ①入学試験志願票 (A・B 票)
- ②志願票 (コンピュータ処理用)
- ③志望理由・研究計画書 (様式 1)
- ④出身大学 (最終学歴) の成績証明書
- ⑤出身大学 (最終学歴) の卒業証明書又は卒業見込証明書 (様式 2)
- ⑥略歴記入票 (様式 3)
- ⑦日本語能力試験合格結果通知書 (写し)

※公益財団法人日本国際教育支援協会発行のもの (NI) 日本の大学卒業 (見込み) の者は不要

- ⑧パスポート (写し)

※日本在住者は、在留カード (写し) 又は住民票抄本の写しによって代えることができます。

- ⑨身元保証書 (様式 4)

(3) 選抜方法

筆記試験、口述試験、学業成績証明書等の書類審査の結果を総合的に判断して選抜します。

種 別	科目・内容	配点
筆 記 試 験	専門試験 70 分 公認心理師カリキュラム学部レベルの心理学の知識	100 点
	小論文 70 分	50 点
口 述 試 験	志望理由・研究計画書等に基づき、複数の教員により口述試験を行う。	100 点
合 計		250 点

(4) 試験日程

2026 年 9 月 26 日 (土)	受 付	8:30~
	専門試験	9:20~10:30 (70 分)
	小 論 文	10:50~12:00 (70 分)
	昼 食	12:00~13:00 (昼食持参)
	口述試験	13:00~

※口述試験は 13 時以降です。各受験生の実施時間、場所については試験当日に指示します。

出願手続書類記入要領

【一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通】

■入学試験志願票〔A票〕

志願票は、黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で必要事項を漏れなく記入してください。
出願3か月以内に撮影した縦4cm×横3cm正面・上半身・脱帽の写真を貼付してください。

■受験票〔B票〕

受験票は切り離さずに返送先の住所、氏名及び志願者氏名欄を記入し、入学検定料の振込
手続を取り、入学試験志願票〔A票〕と一緒に提出してください。受験票返送用ハガキに
385円の切手を貼付してください。

■志願票（コンピュータ処理用）

黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で記入してください。

■志望理由・研究計画書（様式1）

手書きする場合は、黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で記入してください。
様式1は本学ホームページからWord形式をダウンロードし、作成してもかまいません。

■出身大学（最終学歴）の成績証明書

■出身大学（最終学歴）の卒業証明書又は卒業見込証明書（様式2）

■略歴記入票（様式3）

手書きする場合は、黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で記入してください。
様式3は本学ホームページからWord形式をダウンロードし、作成してもかまいません。

【外国人留学生特別選抜のみ】

■日本語能力試験合格結果通知書（写し）

公益財団法人日本国際教育支援協会発行のもの（NI）
日本の大学卒業（見込み）の者は不要

■パスポート（写し）

日本在住者は、在留カード（写し）又は住民票抄本の写しによって代えることができます。

■身元保証書（様式4）

日本在住の保証人による証明書
黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で記入してください。

様式1～様式4は本学ホームページからダウンロードできます。

【入学検定料の振込】

- ①入学検定料は、本学所定の振込依頼書「D 票」に必要事項を記入のうえ、銀行取扱期限内に最寄りの銀行から電信扱いで所定の金額を振り込んでください。
(郵便局からの振込みは不可)
- ②銀行収納印を所定の箇所に必ず受けてください。銀行収納印がない受験票は受理できません。
- ③入学検定料は、現金では受理しません。必ず銀行から振り込み、出願手続きをしてください。
- ④いったん納入された入学検定料は返還しません。

【出願方法】

- ①出願に必要な書類を点検、確認して所定の宛名ラベルを貼付した封筒に同封し、出願期間内に本学に持参するか、又は出願期間内に必着するように簡易書留・速達で郵送してください。
受験票は、受付終了後返送します。
- ②窓口持参も可(ただし、土・日・祝日を除く) (取扱時間 9:00～17:00)

【障がいのある志願者の方へ】

障がいのある志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する方は、出願前の8月末までに入試課に問い合わせてください。8月末までに問合せがない場合は対応が遅れることがあります。

【受験上の心得】

- ①試験当日、受験票は必ず持参してください。受験票がないと入室を認めませんので、紛失又は忘れた場合は、受付まで申し出てください。
- ②試験当日はできるだけ公共交通機関を利用してください。入学試験専用駐車場はありません。
- ③筆記試験については、開始時間から30分までの遅刻は入室を認めず。

【合格発表】

- ①合格者には、合格通知書を合格発表日に発送します(不合格者には結果通知等を送付しません。)
- ②発表日当日の9時から翌々日の17時までインターネットによる選考結果案内サービスを行います。
案内サービスの詳細な要領は受験時にお知らせします。
- ③学内における合格者の掲示及び、電話・郵便等による可否の問合せ対応は行いません。

【追加合格及び二次募集】

- ①入学手続状況、志願状況により、追加合格または二次募集を実施することがあります。
- ②実施する場合、追加合格は電話にて、二次募集は本学HP上でお知らせします。

【入学手続】

- ①合格者は、本学指定の手続きにより、以下の期日までに入学金を最寄りの銀行から振り込んでください。
- ②入学手続の詳細な要領は、合格通知関係書類に同封します。
- ③いったん納入された入学金は返還しません。
- ④入学金を期限までに納入しない場合は、入学の意志がないものとみなして取り扱います。

提出物 ほか	納入期限及び提出期限
①入学金 150,000 円 ※本学学部卒業見込者は免除、本学学部既卒者は半額を免除	2026 年 10 月 21 日(水)
②入学者誓約書兼保証書 ※所定の用紙を使用	
③出身大学（最終学歴）の卒業証明書（様式 2） ※出願時に見込証明書を提出している者のみ	指定期日
④日本語能力試験「認定結果及び成績に関する証明書」 ※6 ページ（1）の出願資格に該当する者 公益財団法人日本国際教育支援協会発行のもの（NI）	

【授業料等学生納付金】

		入学金	授業料	施設充実費	合 計	納入期限
1 年次		150,000			150,000	2026 年 10 月 21 日（水）
	前期		325,000	25,000	350,000	2027 年 4 月末
	後期		325,000	25,000	350,000	2027 年 9 月末
	合計	150,000	650,000	50,000	850,000	
2 年次	前期		325,000	25,000	350,000	2028 年 4 月末
	後期		325,000	25,000	350,000	2028 年 9 月末
	合計		650,000	50,000	700,000	

●学費納入手続の詳細な要領は、選考結果通知書関係書類に同封します。

公認心理師受験資格に関する留意点

公認心理師受験資格には本研究科での学修に加えて、指定された科目を大学で修得していることが必要です。本研究科の入学資格及び入学試験においては、大学における公認心理師受験資格に必要な指定された科目を修得しているかは審査しませんので、出願者自身の責任において大学で必要な科目を修得しているかを必ず確認してください。大学で必要な科目を修得しているかは、在籍（卒業）大学に問い合わせてください。本研究科入学前の学修歴によって公認心理師受験資格が不認定となる場合、本研究科は一切の責任を負いません。

本学大学院入学者選抜試験出願時の個人情報取扱いについて

出願時に志願者から提出された願書一式に関わる個人情報の改ざん・漏えいが生じないように、セキュリティ対策を講じて適正に管理します。出願にあたってお知らせいただいた個人情報の利用目的は以下のとおりです。

利 用 目 的

- 本人確認 ○出願資格確認 ○受験票及び選考結果通知発送
- 緊急時における自宅及び志願者あて照会
- 書類審査 ※参考：学生募集要項（選抜方法）

個人情報に関する問合せ先：九州ルーテル学院大学 入試課

本学までの交通機関



<https://www.klc.ac.jp/about-us/access/>

九州ルーテル学院大学 入試課

熊本市中央区黒髪 3 丁目 12 番 16 号

TEL : (096) 343-2095

FAX : (096) 343-0354

E-mail: nyushi@klc.ac.jp